

サツマイモの塊根小片付き苗利用の検討 ～塊根小片の萌芽促進について～

寺森香織*・有馬進・鄭紹輝¹・鈴木章弘（佐賀大学・1）佐賀大学海浜台地セ）
塊根を 15g 前後の小片に切り分けて萌芽させ移植する栽培方法は、育苗・移植の省力化や大規模化に適する。本試験では、塊根小片萌芽率を高めるための、塊根（種イモ）のキュアリング処理，塊根小片に対するジベレリン処理，塊根小片の萌芽前短期貯蔵処理，ならびに塊根小片萌芽床資材について検討した。その結果，キュアリング貯蔵は塊根小片においても萌芽率を高め，ジベレリン処理は萌芽速度を高めた。また，塊根小片は切断直後より短期間貯蔵したもので萌芽率が優った。ただし，これらには品種で差異が見られた。床資材として濾紙・パーミキュライト・水稻育苗培土を比較し，萌芽率は濾紙でやや優り，苗生育は培土が良好だった。以上のことから塊根小片の萌芽率向上の可能性が示唆された。